

会長あいさつ

わらベサークル協議会
会長 大谷徹子

わらベサークル協議会が誕生して、40 周年を迎えることができ、皆さんとともに喜び、また感謝申し上げます。

わらベサークル協議会は、昭和 58 年 10 月、郷土の先哲久留島武彦先生の精神を継ぎ、童話の実践活動を行っておられた故藤野利雄先生が中心となり、町内の児童文化団体が結集して結成以来、子どもたちが健やかに育つよう「子どもと夢を」のテーマを掲げて実践活動を行ってまいりました。

無力な私達ですが、会員みんなが、行事のたびに子ども達の「楽しかったよ」や「また来てね」の言葉に励まされ、久留島先生の言葉「継続は力なり」を支えに、玖珠町における「童話の里づくり」を続けてきた40年でした。

わらベサークル協議会の活動は、年 1 回の「日本童話祭」だけでなく、年間を通して学校教育では体験できない多様な活動をいろいろな場所で実践しており、定例イベント「新春子ども祭り」「童話の里くすまちこどもフェスティバル」のほか、要望に応じて出前公演を行う「巡回わらべ劇場」では、地域の公民館や学校・幼稚園・子ども園、近年では老人クラブやいきいきサロン、放課後児童クラブなどにも出かけて公演しており、好評を頂いております。

このようなサークル活動の実績が認められ、今から30年前の平成6年11月に「日本ふるさとづくり大賞内閣総理大臣賞」を受賞したことは、その後の活動の励みとなり大変名誉なことでした。

しかし、会員の減少や高齢化に多くのサークルが苦慮している状況も続いており、「後継者の育成」が、わらベサークル協議会がこれからも活動を継続する上でも喫緊の課題と考えております。

今日まで本協議会の活動を支えていただきました、故藤野利雄先生を初めとした諸先輩方、わらべの館の職員の皆さま、そして各加盟サークルの皆さまに厚く感謝を申し上げますとともに、わらベサークル協議会が、これからも皆様のお力添えを得て、久留島武彦先生の「継続は力なり」を実践し益々発展できるよう心から祈念してあいさついたします。



わらべサークル協議会 結成40周年をお祝いして

玖珠町長 宿利政和

わらべサークル協議会が結成40周年という記念すべき年を迎えられ、ここに記念誌を発行されますことに心からお喜び申し上げます。

貴協議会におかれましては、児童文化活動を通じて志を同じくするサークルが結集し、昭和58年10月に結成されて以来、童話祭のおとぎ劇場をはじめ、秋のこどもフェスティバル、新年の新春子どもまつり、巡回わらべ劇場の開催など年間を通じて、童話の里づくりに多大な貢献をされていることに対し、心から感謝申し上げます。

また、初代会長であります故藤野利雄先生をはじめ、今日の御隆盛を築かれた歴代役員の皆様並びに会員の皆様、関係者の皆様に深い敬意を表します。

近年、価値観の変化や多様化、社会生活のデジタル化やスピード化など、めまぐるしく変化する社会情勢にあって、貴協議会は結成以来変わらない『子どもと夢を』のテーマのもと、児童文化に関する活動を継続されていることは、子どもの豊かな人間性の育成をはじめ、町民の心を豊かにし、生活に潤いを与えてくれるものと存じます。

町といたしましては、時勢に適した童話の里づくり事業を展開するとともに、今年は「久留島武彦生誕150周年」の記念の年であります。久留島武彦記念館やわらべの館を中心に、町全体で様々な顕彰事業や記念行事を行い、久留島先生のご功績を称え、次世代に語り継ぐ取り組みを行いたいと存じます。

また、日本童話祭も今年で75回を数え節目の開催となりますので、貴協議会の皆様方には、より一層の御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、久留島武彦生誕150周年記念関連事業や第75回日本童話祭を通じて、玖珠町全体の教育・文化・教養の向上と振興がより一層図ることができるよう取り組みを推進したいと存じます。

結びに、わらべサークル協議会並びにすべての構成団体の更なるご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして、お祝いのことばといたします。



結成 40 周年お祝いの言葉

玖珠町教育委員会
教育長 梶原敏明

「わらべサークル協議会」結成 40 年誠におめでとうございます。

皆様方におかれましては、童話の里づくり「子どもと夢を」のテーマのもと、志を同じくする仲間が集まり、1983 年(昭和 58 年)10 月に結成されました。

現在もその結成時の理念が、多くの定例事業や要望に応じて実施する公演などを通じて脈々と受け継がれ、「童話の里づくり」の中核的な役割を担う主体者として、活動を続けられている加盟サークルの皆様方、そして活動を支援して頂いた関係者の皆様方に心より御祝いを申し上げます。

また、皆さんはその活動を通じて、子どもたちの心を豊かにし、夢と希望を与え、ふるさとを愛し・大切に作る心を育てていただいたことにも、改めて、心から感謝申し上げます。

玖珠町は「童話の里づくり」を継承し、「自然を愛し、子どもとともに夢を育み、誇りを持てる心のふるさと玖珠」を基本理念に掲げまちづくりを推進している中で、「わらべサークル協議会」に参画する各種団体においては、久留島武彦先生の「継続は力なり」その言葉を実践し、活動を続けてこられた 40 年の歴史については、心から敬意を表するところであります。

現在、子どもたちは、SNS の普及など急速に変化する高度情報化社会において様々な影響を社会から受けております。ゲームやパソコン、携帯電話やインターネット情報により、部屋の中にいながら色んな情報が得られますので、子どもたちが学校以外で交流する事が少なくなってきており、人間関係や家族関係の希薄化が懸念されている状況にあります。

故久留島武彦先生は「子どもが育たなければ、日本の将来はない」と言っております。この教えにより、「わらべサークル協議会」の皆様方は、子どもたちに遊びや様々な体験活動等を通して、多様な文化に触れ、学び、自ら考えて行動することなど、豊かな人間性を育むためのあらゆる活動をしていただいております。

これからも、「わらべサークル協議会」の活動を通して、「童話の里づくり」に取り組む玖珠町の未来を担う子どもたちに夢と希望を与え、想像力や表現力を培い、心豊かな人間性を育むために、益々の御活躍と御発展を心より御祈念申し上げ挨拶とします。

4. わらべサークル協議会の起こりと歩み

わらべサークル協議会は、久留島武彦先生の故郷玖珠町で、実践的な童話の活動を行っていた故藤野利雄先生の呼びかけで、童話の里づくり「子どもと夢を」のテーマのもと、志を同じくするサークルが集結し、1983年(昭和58年)10月に結成されました。当時子どもの文化活動をボランティアのテーマに掲げて活動する団体の組織化は、全国でも大変珍しく、話題となりました。

その翌年1984年(昭和59年)4月、わらべの館が開館すると、創作研究室を活動の拠点として、さまざまな児童文化活動が行われるようになりました。

以来、わらべの館のイベントに協力するだけでなく、地域やまちづくり事業にも積極的に参画し、「童話の里づくり」の中核サークルとして活発な活動を行ってきました。

中でも日本童話祭では、自らお話しや人形劇などの児童文化の公演を行うだけでなく、イベント運営など縁の下での力持ちとしての活動も積極的に行っています。

1988年(昭和63年)には、わらべの館に来ることができない子どもたちのために、町内の小学校等を回る「巡回わらべ劇場」がスタートしました。

1989年(平成元年)に埼玉県所沢市で開かれた「国民文化祭・児童文化部門」には、わらべサークル協議会から10団体53名が参加し、人形劇や児童劇、大型紙芝居、おもちゃ作り、折り紙指導など、各所で「童話の里玖珠町」の児童文化活動を披露しました。

このような活動が評価され、1994年(平成6年)「日本ふるさとづくり大賞」(内閣総理大臣賞)を受賞しました。この賞はすぐれた活動実績を上げた地域活動集団などを顕彰する賞であり、当時全国から応募があった118団体から「大賞」に選ばれたことは、その後のサークル協議会の活動の大きな励みとなりました。

1997年(平成9年)の「プレ国民文化祭」1998年(平成10年)の「国民文化祭 おおいた98」では、地元ボランティアの一員として、児童文化部門の会場となった玖珠町にたくさんのお客さまを迎え、「童話の里玖珠町」を全国へ発信することができました。その後、2018年(令和元年)「国民文化祭 おおいた2018」のリーディング事業で行われた「童話の里くすまちこどもフェスティバル」では、「わらべサークルおとぎ劇場」と題したステージに多くのサークルが出演し、フェスティバルを大いに盛り上げました。

これらの活動を40年間に亘って紡いできたわらべサークル協議会も、時代の変化とともに活動を休止したサークルもあり、2023年(令和5年)の6月現在では、16サークル構成人数354名となっており、サークルの人員減少や高齢化が進む中で「後継者の育成」が喫緊の課題となっています。

しかし、わらべサークル協議会の結成の理念「子どもと夢を」は、現在も各サークルに脈々と受け継がれており、童話祭の「おとぎ劇場」、秋の「こどもフェスティバル」、お正月の「新春こども祭り」などの定例事業や、要望に応じて実施する「巡回わらべ劇場」などを通じ、今後も「童話の里づくり」の中核的な役割を担う主体として、「継続は力なり」の久留島精神を支えに活動していきます。

わらべサークル協議会40年の歩み（年表）

元号	年度	西暦	童話祭 回数	主 要 行 事	加盟団体 構成人数	役 員
昭和	58	1983	34	わらべサークル協議会発足 第1回ちびっ子まつり	30 団体	会 長：藤野利雄
	59	1984	35	日本童話祭当日前日祭おとぎ劇場（4 団体） わらべサークル総出演で現在につづく ※わらべの館開館（4 月 16 日）	資料なし	会 長：藤野利雄
	60	1985	36	第1回童話祭の里春まつり（全サークル）	資料なし	会 長：藤野利雄
	61	1986	37	童話の里メルヘンのつどい共催（外国の語り部5名） 童話学校（さわらび）100 回記念 だご汁劇団発足 新春子どもまつり発足（サークル総参加）	資料なし	会 長：藤野利雄
	62	1987	38	資料なし	資料なし	会 長：藤野利雄
	63	1988	39	巡回わらべ劇場スタート 8会場で開催 現在まで続いている	21 団体 878 人	会 長：藤野利雄
平成	元	1989	40	国民文化祭児童文化部門参加（埼玉県所沢市） わらべサークル 10 団体 53 名 6日間 ※日本こどもサミット開催	資料なし	会 長：藤野利雄
	2	1990	41	大分県児童文化祭共催（わらべの館） 福岡県春日市巡回わらべ劇場	資料なし	会 長：藤野利雄
	3	1991	42	日本昔ばなし常田常男さんを招く（わらべの館） 第5回昔ばなしを楽しむ九州交流会開催（参加）	資料なし	会 長：藤野利雄
	4	1992	43	本耶馬溪町巡回劇場 巡回わらべ劇場4か所	資料なし	会 長：藤野利雄
	5	1993	44	野津町九重町巡回劇場 巡回わらべ劇場4か所	23 団体 936 人	会 長：藤野利雄
	6	1994	45	日本ふるさとづくり大賞受賞（内閣総理大臣表彰） 町民の日、特別表彰を受賞 巡回わらべ劇場8か所	21 団体 911 人	会 長：藤野利雄
	7	1995	46	大分県ふるさとづくり優秀賞受賞 人形劇カーニバル飯田市研修参加 国民文化祭とちぎ研修参加 巡回わらべ劇場8か所	20 団体 877 人	会 長：藤野利雄
	8	1996	47	童話の里春まつり（プロ劇団ひとみ座招聘） 巡回わらべ劇場4か所	21 団体 681 人	会 長：藤野利雄

元号	年度	西暦	童話祭 回数	主 要 行 事	加盟団体 構成人数	役 員
平成	9	1997	48	童話の里春まつり（プロ劇団バンビ招聘） プレ国民文化祭おおいだ「人形劇カーニバル」協力 巡回わらべ劇場 4 か所	23 団体 945 人	会 長：麻生萬里 副会長：渡辺源六 副会長：大谷徹子
	10	1998	49	新春子どもまつり（プロ劇団バンビ招聘） 国民文化祭おおいだ 98 童話の語りフェスティバル・民話と人形劇の祭典開催協力 巡回わらべ劇場 3 か所	23 団体	会 長：麻生萬里 副会長：渡辺源六 副会長：大谷徹子
	11	1999	50	新春子どもまつり（プロ人形劇団クラルテ招聘） 童話の里春まつり（プロおもちゃ箱コンサート招聘） 巡回わらべ劇場 3 か所	24 団体	会 長：藤野吉子 副会長：秋好民子 副会長：糸永伸哉
	12	2000	51	新春子どもまつり（プロ人形劇団クラルテ招聘） わらべ文化祭（プロ糸操り人形劇団みのむし）公演 巡回わらべ劇場 4 か所	24 団体 751 人	会 長：藤野吉子 副会長：秋好民子 副会長：糸永伸哉
	13	2001	52	新春子どもまつり（プロ人形劇団ののはな招聘） 子ども秋まつり開催（6 団体 2 個人） 巡回わらべ劇場 2 か所	24 団体 980 人	会 長：衛藤昭 副会長：金粕洋子 副会長：滝石昭人
	14	2002	53	新春子どもまつり（プロ人形劇団ののはな招聘） 子ども秋まつり開催（4 団体 3 個人） 巡回わらべ劇場 2 か所	24 団体	会 長：衛藤昭 副会長：金粕洋子 副会長：滝石昭人
	15	2003	54	わらべサークル協議会結成 20 周年記念誌発行 子ども秋まつり開催 新春子どもまつり（プロ人形劇団ののはな招聘） 巡回わらべ劇場 3 か所	23 団体 950 人	会 長：衛藤昭 副会長：金粕洋子 副会長：滝石昭人
	16	2004	55	子ども秋まつり開催 新春子どもまつり 巡回わらべ劇場 回数は不明	22 団体	会 長：衛藤昭 副会長：金粕洋子 副会長：滝石昭人
	17	2005	56	子ども秋まつり開催 新春子どもまつり 巡回わらべ劇場 7 か所	資料なし	会 長：合原正利 副会長：湯浅恵美子 副会長：衛藤篤代
	18	2006	57	第 1 回わらべサークルフェスティバル 新春子どもまつり 巡回わらべ劇場 11 か所	資料なし	会 長：合原正利 副会長：湯浅恵美子 副会長：衛藤篤代
	19	2007	58	第 2 回わらべサークルフェスティバル 新春子どもまつり 巡回わらべ劇場 13 か所	18 団体	会 長：合原正利 副会長：湯浅恵美子 副会長：衛藤篤代
	20	2008	59	第 3 回わらべサークルフェスティバル 新春子どもまつり（人形劇団ののはな招聘） 巡回わらべ劇場 10 か所	18 団体	会 長：合原正利 副会長：湯浅恵美子 副会長：衛藤篤代
	21	2009	60	第 4 回わらべサークルフェスティバル 新春子どもまつり（人形ボードヴィル ドラ招聘） 巡回わらべ劇場 10 か所	18 団体 568 人	会 長：秋好民子 副会長：清原巧 副会長：小関典男 副会長：衛藤篤代
	22	2010	61	第 5 回わらべサークルフェスティバル 新春子どもまつり（大江戸ジュリ招聘） 巡回わらべ劇場 17 か所	19 団体 571 人	会 長：秋好民子 副会長：清原巧 副会長：小関典男 副会長：衛藤篤代

元号	年度	西暦	童話祭 回数	主 要 行 事	加盟団体 構成人数	役 員
平成	23	2011	62	第6回わらべサークルフェスティバル（玖珠自治会館） 新春子どもまつり（人形劇ひつじのカンパニー招聘） 巡回わらべ劇場 21 か所	19 団体 543 人	会 長：清原巧 副会長：衛藤篤代 副会長：中園ちづる 副会長：金粕洋子
	24	2012	63	第7回わらべサークルフェスティバル 新春子どもまつり（人形劇団ののはな招聘） 巡回わらべ劇場 12 か所	19 団体 528 人	会 長：清原巧 副会長：衛藤篤代 副会長：中園ちづる 副会長：金粕洋子
	25	2013	64	第8回わらべサークルフェスティバル（北山田小） 新春子どもまつり（劇団ばれっと招聘） 巡回わらべ劇場 13 か所 サークル協結成 30 周年 記念式典・祝賀会・記念誌	16 団体 521 人	会 長：衛藤昭 副会長：山本紀子 副会長：小野千春 副会長：望月久光
	26	2014	65	第9回わらべサークルフェスティバル 新春子どもまつり（劇団バク招聘） 巡回わらべ劇場 9 か所	16 団体 502 人	会 長：衛藤昭 副会長：山本紀子 副会長：小野千春 副会長：望月久光
	27	2015	66	第10回わらべサークルフェスティバル（八幡自治会館） 新春子どもまつり（人形芝居かすべる招聘） 巡回わらべ劇場 24 か所	17 団体 512 人	会 長：大谷徹子 副会長：山本紀子 副会長：小野千春 副会長：望月久光
	28	2016	67	第11回わらべサークルフェスティバル 新春子どもまつり（劇団バク招聘） 巡回わらべ劇場 18 か所	16 団体 496 人	会 長：大谷徹子 副会長：山本紀子 副会長：小野千春 副会長：望月久光
	29	2017	68	童話の里くすまちこどもフェスティバル ※国文プレ 新春子どもまつり（劇団バク招聘） 巡回わらべ劇場 16 か所	16 団体 494 人	会 長：山本紀子 副会長：望月久光 副会長：茨木君子 副会長：秋山真由美
	30	2018	69	童話の里くすまちこどもフェスティバル ※国文共催 新春子どもまつり（劇団バク招聘） 巡回わらべ劇場 21 か所	16 団体 502 人	会 長：山本紀子 副会長：望月久光 副会長：茨木君子 副会長：秋山真由美
令和	元	2019	70	童話の里くすまちこどもフェスティバル ※国文レガシー 新春子どもまつり（劇団ボードヴィル・ドラ招聘） 巡回わらべ劇場 21 か所	16 団体 259 人	会 長：大谷徹子 副会長：秋山真由美 副会長：佐藤みち子 副会長：松下善法
	2	2020	71	巡回わらべ劇場 2 か所のみ ※その他の事業についてはコロナ禍で自粛	16 団体 259 人	会 長：大谷徹子 副会長：秋山真由美 副会長：佐藤みち子 副会長：松下善法
	3	2021	72	童話の里くすまちこどもフェスティバル（中止） 新春子どもまつり（つのむれ登山のみ）	16 団体 383 人	会 長：大谷徹子 副会長：秋山真由美 副会長：佐藤みち子 副会長：松下善法
	4	2022	73	童話の里くすまちこどもフェスティバル 新春子どもまつり（午前中のみ開催） 巡回わらべ劇場 5 か所	16 団体 369 人	会 長：大谷徹子 副会長：秋山真由美 副会長：佐藤みち子 副会長：松下善法
	5	2023	74	結成 40 周年記念事業 童話の里くすまちこどもフェスティバル 新春子どもまつり（三島鍋再開・午前中のみ開催） 巡回わらべ劇場 9 か所 結成 40 周年 記念式典・祝賀会・記念誌発行	16 団体 354 人	会 長：大谷徹子 副会長：秋山真由美 副会長：佐藤みち子 副会長：松下善法

5. わらべサークル協議会の活動

2020 年（令和 2 年）に始まった新型コロナウイルス感染のパンデミックによって、この約 4 年間、サークル協議会の活動も自粛や中止を経て、規模を縮小しての開催へと推移してきました。そして 5 類感染症への移行により、ようやく以前の活動へと戻りつつあります。

ここでは、これまでの通常のサークル協議会の活動を振り返ります。

○日本童話祭・おとぎ劇場（毎年 5 月 5 日）

日本童話祭は、郷土の先哲久留島武彦の「口演童話行脚 50 年」を記念し 1950 年（昭和 25 年）5 月 5 日、三島公園内に建てられた「童話碑」の除幕に併せて第 1 回日本童話祭が開催されて以来、今年で 75 回目を迎えます。

「おとぎ劇場」では、サークル協議会を中心に実行委員会を組織し、お話やコーラス、人形劇、パネルシアター、腹話術、折り紙指導などわらべサークルの活動の発表や、県内外から参加する児童文化サークル、そして招聘したプロ劇団がわらべの館を中心に、安楽寺や成覚寺、大乘寺などで楽しいステージを創り上げています。

おとぎ劇場の各会場では、各サークルが会場運営に携わりながら、武彦翁の思いを継承する「童話の里づくり」を全国に発信しています。

○巡回わらべ劇場

1988 年（昭和 63 年）、遠いなどの理由でわらべの館になかなか来ることができない子どもたちのために、町内の小学校等を回る「巡回わらべ劇場」がスタートしました。

開催当初はほとんどが学校の体育館をお借りして行う夜の公演で、農繁期の終わった夜の体育館には、たくさんの親子連れやおじいちゃんおばあちゃんが集まり、歌や人形劇、影絵劇やおはなしなどで楽しい時間を過ごしました。

また町外での出張公演も行っており、1989 年（平成元年）埼玉県所沢市、1990 年（平成 2 年）福岡県春日市、1992 年（平成 4 年）耶馬溪町、1993 年（平成 5 年）には野津町と九重町で公演を行っています。

現在では公演の規模も縮小しましたが、概ね 2 つのサークルでチームを組み、こども園や幼稚園・子育てサロンのほか、老人会やいきいきサロン、各地域のイベントなどの依頼を受けて、出前の公演を行っています。

○童話の里くすまちこどもフェスティバル

「童話の里くすまちこどもフェスティバル」は、秋の行事として 2000 年（平成 12 年）に始まった「わらべ文化祭秋祭り」を原点に「子ども秋祭り」「わらべサークルフェスティバル」と引き継ぎ、2017 年（平成 29 年）の国民文化祭プレイベントを機に現在の名称となっています。

また「子ども秋まつり」までは、子どもたちが日ごろの活動を発表する場として運営していましたが、サークル相互の活動が見えにくいとの意見もあり、加盟サークルの発表の場として見直しを行い、現在の形になっています。

こどもフェスティバルでは、午前にコーラスやブラックシアター、お話し、人形劇、腹話術、紙芝居など多彩なステージや来場者に折り紙のプレゼント。お昼の時間は、町内の福祉事業所の協力による、昼食の提供を行うとともに、午後にはプロ劇団の公演も行っています。

例年わらべの館大座敷を会場としていますが、2011 年（平成 23 年）は玖珠自治会館、2013 年（平成 25 年）は北山田小学校、2015 年（平成 27 年）には八幡自治会館に出かけて公演し、地域の皆さんと交流しました。

○新春子どもまつり

1986 年（昭和 61 年）1 月に第 1 回「新春子どもまつり」が行われました。

新春子どもまつりは、冬休み中の子どもたちのために、こま回しや、羽根つき、凧づくりなど伝統的なお正月の遊びの体験や、国指定史跡の「角牟礼城」への登山（新春つのもれ登山）などの催しで、三島グラウンドを主会場に来場者をお迎えしています。

角牟礼城の山頂では「大声おらび大会」や「宝探し」なども行い、毎回町外からも楽しみに参加する親子連れもいます。

お昼の時間には、サークル協の会員有志が準備した「三島鍋（豚汁）」や「お城餅」を無料でふるまうとともに、抽選会なども行っています。

午後からはプロ劇団による公演もあり、目玉の一つとなっています。

○その他の活動

わらべサークル協議会加盟の各サークルは、前述した定例事業にとどまらず一年を通して町内各地のさまざまなイベントでも活動をしています。

また、久留島武彦先生の口演童話活動を顕彰して始まった「久留島武彦顕彰全国語りべ大会」では、多くの会員が大会の立ち上げから企画・運営に携わり、現在も準備委員会委員として参画しています。

○「童話の里」のまちづくりへの協力

わらべの館は、わらべサークル協議会発足の翌年 1984 年（昭和 59 年）4 月「童話の里づくり」の中核施設として、そしてわれわれ児童文化サークルの活動拠点として開館しました。

わらべサークル協議会に加盟するサークルは、開館当初からさまざまな形でわらべの館の運営を支援するボランティア活動を行っています。

当初は、定例の「おはなしと映画の会」「折り紙教室」に協力し、たくさんの子どもたちの参加がありました。また、イベント時のビデオ撮影なども行い現在でも多くの貴重な映像資料が残されています。

近年では、月 2 回行う「えほんの会」での読み聞かせや、折り紙による季節ごとのウィンドディスプレイ・春のひな飾りのほか、「わらべミニ見に劇場」など特別行事への出演や、児童文化活動の後継者発掘を目的に行われる「人材育成事業」へも積極的に参加しています。

今後も、わらべの館の児童文化の振興に資する事業に参画するとともに、「童話の里づくり」の中核団体として、さまざまな場面で玖珠町のまちづくりに協力していきます。

わらべサークル協議会及び関係サークルの町民表彰

団体名	受賞年月日	功績	備考
童話学校	昭和 62 年 3 月 1 日	童話の里づくり	表彰状
わらべサークル協議会	平成 7 年 3 月 1 日	文化振興	特別表彰
つのむれ文庫	平成 9 年 6 月 10 日	社会教育	表彰状
折り紙わらべの会	平成 15 年 3 月 1 日	文化振興	表彰状
つのむれ会	平成 19 年 3 月 1 日	文化振興	表彰状
くすコールメルヘン	平成 24 年 3 月 3 日	文化振興	表彰状
影絵サークルわかたけ	平成 24 年 3 月 3 日	文化振興	表彰状
人形劇ビキタロ	平成 25 年 3 月 2 日	文化振興	表彰状
久留島会	平成 26 年 3 月 1 日	文化振興	表彰状
語りべひこわの会	平成 26 年 3 月 1 日	文化振興	表彰状
児童文化サークルさわらび	令和 3 年 3 月 1 日	文化振興	表彰状

6. わらべサークル協議会を構成するサークル

わらべサークル協議会関係団体名簿（休止したサークルも含めて結成年順）

No	サークル名	結成年		備考（現在の状況等）
	ボーイスカウト玖珠	1949 年	昭和 24 年	活動休止
	ガールスカウト・大分 28 分団	1961 年	昭和 36 年	活動休止
1	久留島会	1965 年	昭和 40 年	
	大分県野鳥の会玖珠部	1972 年	昭和 47 年	活動休止
2	子どもの遊びを考える会	1974 年	昭和 49 年	
3	玖珠少年少女合唱団	1978 年	昭和 53 年	
	自然とともに歩む会	1979 年	昭和 54 年	活動休止
4	童話学校	1980 年	昭和 55 年	
5	大分・玖珠映像協会	1980 年	昭和 55 年	
6	つのむれ会	1981 年	昭和 56 年	
7	児童文化サークルさわらび	1981 年	昭和 56 年	
	つのむれ文庫	1981 年	昭和 56 年	活動休止
	玖珠ハーモニカ	1981 年	昭和 56 年	活動休止
8	折り紙わらべ	1982 年	昭和 57 年	
	木牟田こども神楽	1983 年	昭和 58 年	活動休止
	影絵サークルわかたけ	1983 年	昭和 58 年	活動休止
9	くすコールメルヘン	1984 年	昭和 59 年	
	ふあんたじあ腹話術グループ	1988 年	昭和 63 年	活動休止
	玖珠町子ども会連絡協議会	1988 年	昭和 63 年	解散
10	語りべひこわの会	1989 年	平成元年	
	久留島子ども太鼓	1989 年	平成元年	活動休止
11	森童謡をうたう会	1990 年	平成 2 年	
12	清田コレクション整理委員会	1991 年	平成 3 年	
	アンサンブル玖珠	1993 年	平成 5 年	活動休止
	夢竹とんぼクラブ	1993 年	平成 5 年	活動休止
	大分県立森高等学校 VSG同好会	1993 年	平成 5 年	退会
	玖珠7団カブスカウト	1995 年	平成 7 年	活動休止
13	人形劇ビキタロ	1996 年	平成 8 年	
14	くすパペット	2003 年	平成 15 年	
	おはなしキッズ	2005 年	平成 17 年	活動休止
15	えほんの会はびねす	2005 年	平成 17 年	
16	ラ・フェリーチェ	2016 年	平成 28 年	

※現存する記録にあるサークルのため、詳細不明なケースもあります。

※網掛けは、現在活動休止等のサークルです。

サークル名	久留島会 1965 年～
-------	--------------

結成のきっかけ

昭和 35 年(1960 年)6 月 27 日、久留島武彦先生が 86 才で鎌倉の角田病院で逝去され、横浜市・総持寺において葬儀が営まれました。同日、郷里・玖珠郡森町でも、有志が集い、久留島家の菩提寺・安楽寺で、遺徳を偲び法要を行いました。それ以後も、毎年 6 月 27 日、安楽寺で追悼法要を継続していました。昭和 40 年、5 月 5 日の前日祭の一環として久留島武彦先生の顕彰と法要を営みました。その後、昭和 40 年 7 月、「末永く先生の業績と顕彰を継承する」ことを目的に、地域の理解をいただき結束し、会則、会員組織を作り、本会を設立しました。昭和 41 年 6 月 27 日に法要と総会を行いました。第 1 回久留島会です。当時の会員は町内外、遺族、文化人、百数十名でした。

活動の特色

児童教育家・久留島武彦先生の偉業をしのび、業績と理念を受け継ぎ広く全国に呼び掛け、顕彰事業を行っています。モットー「桃太郎主義」、「子供が育たなければ日本の未来はない」、「継続は力」菩提寺・安楽寺にある、久留島先生の墓地清掃を行い、清潔に維持管理し、武彦先生に対する尊敬の念を表し、来訪者にも武彦先生に対する尊敬の念を抱いてもらえるように整備しています。

毎年の「法要」を町、関係者各機関、会員に案内実施。皆様のご参加を頂いています。

これまでの活動

(わらベサークル結成以後)

1984 6 月 27 日第 25 回忌、久留島先生祥月命日法要。墓地清掃維持管理。=毎年開催。

1984 わらべの館開館に際し、館内設置の久留島記念室の資料収集整備、公開に協力。

1989 三島公園内に生誕の碑建立(5 月 4 日)

1991 久留島記念館の移転(森下町)に協力。

1996 久留島武彦顕彰記念第 1 回語りべ大会～

2001 久留島武彦絵葉書「武彦のふるさと」製作。
久留島武彦関係資料収集活動(CD 等)。

2009 第 50 回久留島先生祥月命日法要。

2012 第 17 回語りべ大会主催。(最終回)

2013 第 1 回久留島武彦顕彰全国語りべ大会共催

2014 久留島武彦記念館建築陳情採択。落成 2017

顕彰記念語りべ大会は顕彰全国語りべ大会に移行

現在の活動

6 月 27 日、久留島先生祥月命日追悼法要。総会。

久留島先生墓地清掃維持管理。ご遺族との交流。

会報「桃太郎」発行。久留島関係資料収集。

久留島武彦先生顕彰式。

久留島武彦先生の理念と業績を継承、顕彰・広報。

久留島武彦顕彰全国語りべ大会・共催。

日本童話祭に協力。

わらベサークル協議会に参加～主催事業参加。

わらべの館、久留島武彦記念館の運営に協力

◎組織(会員の高齢化による課題の解決を検討)

2023 年時久留島会役員

会長 秋山泰士、副会長 河谷俊彦、事務局 秋山泰士。評議員・荒木盛男、衛藤浩、安部薫、得重嘉彦園田佳太、西弘道、疋田福子、会員町内外 90 名

諸施設諸行事が完成実施。法要と顕彰活動が中心



久留島武彦先生墓地 安楽寺 1961 年



久留島武彦生誕碑と立像 1989 年 2019 年



第 64 回祥月命日追善法要 2023 年 6 月 27 日



墓地清掃維持管理 2018 年



第 10 回久留島武彦顕彰全国語りべ大会 2022 年



第 9 回久留島武彦顕彰記念語りべ大会盾 2004 年

掲載写真は毎年行っているものがほとんどですが、編年の関係で年次を記載しております。

サークル名

子どもの遊びを考える会 1974 年～

結成のきっかけ

子どもにとって遊びは教育の場、学習の場であり、協調性、創造性、自主性といった人間としての基礎的キャラクターを形成するところに遊びの意味があるとし、子どもの成長過程における遊びの意義・価値を見直し、失われてしまった本来の遊びを復活させていくことを目的に結成しました。



♪活動の記録♪

- ・ 凧や手作りおもちゃ作りの指導中の会員
- ・ 物を作る喜びにあふれた真剣な表情の子どもたち。



♪活動の記録♪

自分で作った凧を揚げて、笑顔の子どもたち。

いつの時代も、子どもにとって遊びは生きる知恵を学ぶ場です。



活動の特色

伝承遊びを中心とした活動で、竹トンボ・竹馬・凧・わらじ・パタパタ等を子どもたちが真剣になって作っていく手助けを行い、また、子どもたちの想像力を伸ばすべく、子どもの目線に立って指導を行っています。

会員自身も子どもたちと一緒に作りながら伝承遊びを学び、理解するとともに、新しい遊びを開発しながら活動していく。

また、子どもたちとの交流を深めるため、学校行事、特にPTA行事に積極的に参加し、地域リーダーの育成を目指しています。

これまでの活動

- 1974 年発足・童話祭参加・河川敷
- 1978 年より童話祭を末廣神社にて
- 1983 交流キャンプ・夜鍋談義
手づくり遊び広場
大分合同新聞主催ふれあいプレス
NHKキャラバンシリーズ
大分市一日お父さん
- 1989 国民文化祭・さいたま参加
軒先市
会員数30人を超え、巡回わらべ劇場のほか各種お祭りに積極的に参加
- 1998 国民文化祭おおいた 98 参加
- 2000 住民参加のまちづくり自治大臣表彰
- 2002 会員の減少等により初めて童話祭不参加
以後、サークル協主催「新春こどもまつり」に参加しています。

現在の活動

会員の減少と活動の衰退により、毎年の「新春こどもまつり」が唯一の活動の場となっています。

学生ボランティアや会員の子どもが参加する中で、組織の活性化や活動継続に繋がりたいと考えています。



2014 年1月 5 日 新春こどもまつり



1998 年10月
国民文化祭
おおいた 98 に
参加



2024 年1月 6 日 新春こどもまつり

サークル名

玖珠少年少女合唱団 1978 年～

結成のきっかけ

「童話の里に子どもの歌を・・・」と、故 佐藤俊文先生が昭和 53 年(1978 年)7 月に結成したのが、玖珠少年少女合唱団です。

当時は、小学 4 年生以上 53 名の団員でスタートし、地域のさまざまなイベントにも出演していました。

活動の特色

「昔からの童謡・唱歌を始め、新しい子どもの歌を子どもたちのコーラスを通して広めていきたい」という佐藤先生の思いを引き継ぎ、現在も合唱や童謡・唱歌を歌っています。

子どもたちの発表の場でもあるイベントへの出演にも、時間の都合がつけば積極的に参加し、「健全な子どもの歌」を今後も広めていきたいと考えています。



サークル協結成 30 周年記念誌より 懐かしい写真



2014 年 わらべサークルフェスティバル

現在の活動



2023 年 第 74 回日本童話祭(おとぎ劇場)

【現在の団員】

指導者 竹内 妙子

伴奏者 森 仁子

団 員 吉永 奏

梶山 結梨奈

梶原 明衣

山田 夏椰子

田仲 希衣

ここ数年のコロナ感染症の影響で練習もままならない状況でしたが、3 年前からやっと活動を再開できました。

団員が減少し、現在は小学 2 年生から 6 年生までの 5 名で活動をしています。

- ・練習日 毎週土曜日 15:00～17:00
- ・場 所 メルサンホール
- ・各種コンサートやイベントに出演

2019 年からの参加行事

- ・日本童話祭(パレード・式典・おとぎ劇場)
- ・童話の里くすまち子どもフェスティバル
- ・大分県少年少女合唱祭
- ・生き生き教室
- ・成人式
- ・公民館フェスティバル



2023 年 10 月 21 日 わらべサークル協議会結成 40 周年記念事業
童話の里くすまちともフェスティバル

結成のきっかけ

第30回目日本童話祭の反省の中で、「子どもに夢と感動を」の願いから「童話の家」を開設。

これをきっかけに、年に一度だけでは願いは果たせない、年数回開いて、地元の子どもたちにもっと夢をあたえようと云うことで、森地区商工青年部と「さわらび」「折り紙」「保母」その他の人々の熱い思いから月1回お寺を中心に開催する事となりました。

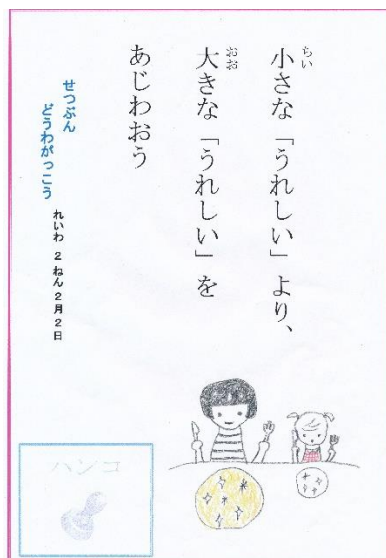
活動の特色

年間 6 回の童話学校の他、日本童話祭でもおはなし、手遊び、ゲーム、パネルシアターや紙芝居などを行っています。

子どもたちがお客さんになるだけではなく、自ら演じるのも大きな特徴です。参加当初小学校低学年で、ドキドキひやひやで紙芝居を読んでいた子どもたちが、演じるごとにだんだん自信をつけていっています。

お寺のご住職の法話を聞き、自ら演じた子どもたちは、高校生になるとボランティアで童話祭に参加してくれるようになりました。このような成長を見ることが会員の喜びです。

童話の里くすまちに、そんな子どもたちがたくさん出て来ることを願って活動を続けています。



2020 年 2 月 2 日

「せつぶん童話学校」のチラシ



2016 年10月15日の童話学校の様子

これまでの活動

- 1980 童話学校開校
 地区の寺院、公民館
 わらべの館で毎月開催
 特別養護老人ホーム
 児童養護施設
 ユニセフ募金
 親子キャンプなどを開催
 大乘寺、わらべの館、上記
 会場で年6回開催
 他に軒先市童話学校も
 4月～10月まで、久留島記念館で開催。
- 2013 通算 300 回目の童話学校(9/22)
- 2019 3月「ひな祭り童話学校」で通算 330 回
- 2020 2月通算 336 回目の「豆まき童話学校」
 を最後にコロナの影響もあり休校
 また開校の予定

現在の活動

- 4月……花まつり童話学校
 5月……日本童話祭
 8月……きもだめし童話学校
 10月……お月見童話学校
 11月……団子汁童話学校
 12月……クリスマス童話学校
 2月……豆まき童話学校

児童文化サークルさわらびや、森地区
 商工青年部の協力をいただいて、昔からの
 伝統的な季節の催しを行い、紙芝居や
 絵本、パネルシアターなどで楽しんでもらっ
 ている。

会場は大乘寺とわらべの館を使用。



2013年3月2日 通算 300 回目
 「ひなまつり童話学校」のチラシ

【2024 年現在の会員等】

代表 藤野 浩 史

顧問 藤野 吉 子

校長 森商工青年部

(さわらび)小野千春 中神節子 長尾毬子

坪井博美 志津里法子



結成のきっかけ

この会は、ふる里玖珠の観光、行事などを 8 ミリフィルムにより映像で記録し、次の世代に引き継ぐことを目的として、昭和 55 年(1980 年)に「小型映像協会」と会名して16名の会員により発足しました。

その後、8 ミリフィルムの製造中止に伴って、撮影機材をビデオカメラに変え、名称も「大分映像協会」と改めました。

昭和 58 年(1983 年)わらべサークル協議会が設立すると、これに参加して、名称を「大分・玖珠映像協会」としました。



映写機や機材類は、この 40 年間で大きく変わりました。

【カメラの変遷】

大型アナログビデオカメラ(約 8 kg)
+ バッテリー(約 3 kg)
→ 中型デジタルカメラ(約 2 kg)
→ 小型デジタルカメラ(約 400g)

【記録媒体の変遷】

ビデオテープ→ミニDVテープ→DVD
→ テープなしで直接テレビやパソコンに接続可能



【編集機の変遷】

大型編集機 2 台 + モニターテレビ 2 台 + ミキサー + タイトラーなど 6 台を並べ 1 部屋を独占して行っていた編集も、今はノートパソコン 1 台またはカメラだけで編集できます。
発展進歩の速さに追いつくのが大変です。

※写真はわらべの館の開館当初
視聴覚準備室で編集作業にあたっていました。

活動の特色

地域の行事、情景を映像に残すのは大変意義深いことだとの信念から、活動を続けてきました。

現在、日本童話祭などの地域の行事や、「わらべの館」や「わらべサークル協議会」の行事等を取材して、関係者に提供しています。

これまでの活動

40 年前に「小型映像協会」が発足した当時、撮影機材は 8 ミリカメラでした。編集は「わらべの館」視聴覚室の本格的な編集機材で行いました。当時は会員が撮影した作品を持ち寄り、月 2 回以上の研修を行い、また、春秋には県外へ撮影旅行に訪れる等、熱心に活動していました。

その後、8 ミリフィルムの製造中止に伴い、撮影機材をビデオカメラに変え、会の名称も「大分映像協会」としました。

撮影機材はさらにVHSビデオからホームムービーへと進化しました。記録媒体もビデオテープから内蔵ハードディスクやSDカード等へ変わりました。

機材が小型化して価格も比較的廉価になると、映像撮影は身近なものとなり、小学校の運動会などで大勢のお母さん方がホームムービーを構える姿が見られるようになって久しくなります。

最近では、スマートフォンの普及により、誰もが写真のみならず動画の撮影も簡単に楽しめるようになりました。しかし、そのことにより、現状では、この会の存在意義が少なくなったと言えるでしょう。

現在の活動

現在では、会員数の減少で、かつての活動が困難となり「わらべの館」や「久留島武彦記念館」の行事を中心に、「わらべサークル協議会」の活動などの取材を行っています。

【2023 年現在の会員等】

代表：望月久光



2023 年8月 21 日 森放課後児童クラブ
巡回おとぎ劇場での取材風景



2023 年 10 月 21 日 童話の里こどもフェスティバル
イベント時には、客席からは見られないアングルや
裏方の様子まで記録に残しています。



結成のきっかけ

1981年(昭和56年) 角埋山の自然と文化を守ろうと、角埋を愛する人たち 126 名で結成。ピーク時の会員数は 238 名であったものの、少子高齢化の現在は 133 名と減少傾向にあり危惧している。

活動の特色

「国指定史跡」、さらに「続日本100名城」指定の角牟礼城跡に訪れる全国各地の城マニア等の現状を踏まえた本丸跡を中心とした草刈り等の環境整備
子どもに郷土の宝とも言える角埋山とのふれあいの場を提供するための取り組み

これまでの活動

- 1981 つのむれ会結成
第1回つのむれクリーン登山
- 1982 童話祭つのむれ登山開始
探鳥会始まる
- 1984 つのむれ自然観察会開始
- 1986 新春こどもまつり
つのむれ緑の少年団結成
- 1991 つのむれ山植樹
創立 10 周年記念行事
- 1992 角牟礼城跡現地説明会
「穴太積発掘について」
- 1993 八丁坂参勤交代道草刈作業はじめる
- 1998 角埋山植生調査、樹名板取り付け
- 2002 つのむれ会 20 周年記念セレモニー
記念誌「つのむれ遊観」発行
- 2005 3 月 2 日角牟礼城跡は国指定史跡となり
地域の宝が国の宝になったことから、
記念誌「角牟礼今昔」発行
- 2006 美しい里山づくり支援事業(2006～2010)
①広葉樹林内のつる切り・下草刈り 20.6 ㍓
②整理伐 4.0 ㍓ ③登山道の道切り 4.5 ㍓
④炭焼き窯の設置 ⑤樹木名板設置 70 枚
⑥ベンチ設置 31 カ所など
- 2007 まちなみ文化祭に初参加
- 2011 「角埋の美しい里山づくり」
- 2012 「平成3年の台風19号風倒木処理」
- 2015 「環境大臣表彰」を受ける

現在の活動

つのむれ会の主な活動は、山頂付近一帯の草刈りである。特に夏場においては草の繁茂状況を踏まえ必要な草刈りに少数と会員が汗を流している。このため 9 月の角牟礼城跡クリーン大作戦で地域の方が参加しての環境整備に感謝している。

角牟礼城跡と子どものふれあい活動として、わらべサークル協議会の「新春こどもまつり」の一環としての「新春つのむれ登山」や 5 月のこどもの日の前日に「つのむれおとぎ登山」を毎年実施している。

- R5. 5.4 つのむれおとぎ登山 101 名参加
- R5. 9.3 クリーン大作戦 33 名参加
- R6. 1.6 新春つのむれ登山 64 名参加

これからの「つのむれ会」

本会の主な活動は、角牟礼城跡一帯の草刈り等であるが、常時作業ができる会員数は後期高齢者 5 名程度まで減少、後継者不足は他人事ではなくなったと言わざるを得ず危惧している。

【2024 年現在の会員等】

会 長：得重嘉彦

副 会 長：久保喜延

事務局長：久保喜延（併任）

会 計：野北一男

監 事：高倉益雄 横山弘康

庶 務：荒木盛男 神崎孝徳 河谷俊彦 園田佳太 志津里 明 松下善法

小野政太 宿利英治 朝倉浩平 相良尊徳 岐部俊哉 日野シゲミ



日 常 の 草 刈 り 作 業



ク リ ー ン 大 作 戦 前 の セ レ モ ニ ー



新 春 つ の む れ 登 山 お ら び 大 会



新 春 つ の む れ 登 山 宝 さ が し



つ の む れ お と ぎ 登 山 受 付



つ の む れ お と ぎ 登 山 ビ ン ゴ ゲ ー ム

結成のきっかけ

昭和56年9月 日本のアンデルセン、故久留島武彦先生の精神を継承、童話や人形劇など児童文化に関心を持つ若者で結成(当時約20人)

「さわらび」は、久留島先生経営の幼稚園名より命名しました。

活動の特色

発足当初は若者が多かったので、積極的に活動をしていました。

人形劇を中心に影絵、おはなし、紙芝居、パネルシアター、エプロンシアター、ゲーム等、子どもと一緒に楽しみながら、将来は子どもたちが童話や人形劇が好きになり、又、演じる事ができるように育てたいと願ってきました。

近年は保育士経験者を中心に、いきいきサロンや、放課後児童クラブ・育児サロンなどにも参加しています。



子育て支援センター「いちごのきもち」での巡回わらべ劇場の風景



2011.10.15 わらべサークルフェスティバル(玖珠自治会館)にて
ブラックシアター「花さき山」を熱心に見入るこどもたち♪

これまでの活動

- 1983 わらべサークル協議会発足に伴い入会
- 1985 大分県青年大会で人形劇部門優勝
第34回全国青年大会に出演
- 1988 巡回わらべ劇場スタート
- 1989 第4回国民文化祭(埼玉県所沢市)
児童文化祭に出演
- 1998 大分県国民文化祭
慰問など: 特別養護老人ホーム玖珠園
養護施設鷹巣学園訪問
- 2001 こども秋まつり
- 2007 わらべサークルフェスティバル
- 2009 九州人形劇フェスティバル参加
- 2013 日田三隈こども園
～ 道の駅10周年記念行事
トレインフェスタ森機関庫
みつばこども園
- 2019 国民文化祭/全国障害者芸術文化祭
くすまちレガシー事業
- その他 巡回わらべ劇場、母子サロン
子育て支援センター、子育てサロン
放課後児童クラブ、老人施設慰問 など

現在の活動

現在の活動

- ・日本童話祭童話の家(大乘寺)
(昭和54年5月より)
 - ・童話学校年6回(昭和54年6月より)
 - ・わらべサークル協議会の行事に参加
新春子どもまつり
童話の里くすまちこどもフェスティバル
巡回わらべ劇場
 - ・軒先市 童話学校外
 - ・わらべミニ見に劇場出演(わらべの館行事)
- ※現在は会員もいろいろな事情で減少。
悩みの種です。
やる気のある、子どもの好きな会員を
募集中です。

【2023年現在の会員等】

- 会長: 藤野吉子
- 代表: 小野千春
- 会員: 藤野裕史 長尾穂子 中神節子
坪井博美 志津里法子



2023.8.21 森放課後児童クラブ巡回わらべ劇場
ブラックシアター「花咲山」公演風景



2022.10.22 童話の里くすまちこどもフェスティバル
ブラックシアター「キャベツくん」の公演を終えて

結成のきっかけ

日本童話祭に「自然と共に歩む会」のメンバーが、日本の伝統の折り紙を子どもたちと共に楽しもうと始め、翌年「日本折り紙協会」講師の田吹去水先生から、お声をかけていただき、ご指導、ご協力のもと結成にいたりしました。

活動の特色

手先を使った日本独自の伝統文化である折り紙を通して、子ども達の創造的な感性を伸ばし、身近な動物や花、事象に至るまで、折り紙で表現出来る喜びを子ども達と共に味わえることを励みに続けてきました。

子どもたちは折り紙に集中することで、情緒も安定し、一つの作品の完成によって味わえる達成感で明るい笑顔を見せてくれます。

わらべの館の教室では、子どもたちが素敵な作品作りに取り組んでいます。

また、自治会館での折り紙教室は、多くの高齢者の参加があり、指先を使い作品を仕上げて喜びを味わい、会話を楽しんでいます。家にこもらずに外出の機会が増えることもよいことだと思っています。

私たち自身も、みんなの気持ちが一つになる、笑いながらおしゃべりをして作品を作り上げる楽しい場です。要請があれば、地域のいきいきサロン等にも出かけていますので、年間を通して会員一同忙しくしています。



2012 年 3 月 森まち童ひなまつり
酢屋の蔵とポケットパークが、折り紙の世界に♪



2023 年 5 月 5 日 第 74 回日本童話祭
折り紙教室(図書室) 大盛況でした！

これまでの活動

これまでの活動

- 1982 折り紙わらべ結成
 - 日本童話祭
 - 童話学校
 - 玖珠郡教育文化祭
 - 全国折紙コンベンション別府大会
- 1998 国民文化祭おおいだ98参加
 - 童話パネル作成
- 1999 第1回大分県民芸術文化祭参加
 - 九州折紙コンベンション大分大会
- 2000 大分県折紙講座(～2002)
- 2003 玖珠町民の日にて表彰「文化振興部門」
- 2009 「30年作品展」準備開始
- 2010 「折り紙わらべ30年作品展」(3/1～31)
 - 酢屋蔵・ポケットパークで展示
- 2011 「森まち童ひなまつり」参加(～2020)
- 2018 森自治会館折り紙教室開始
- 2019 北山田小祖父母学級への参加
- 2020 「東京オリンピック応援パネル」作成
- 2021 玖珠自治会館折り紙教室開始
- 2022 森中央小学校クラブ活動への参加



わらべの館のウインドウに
季節に応じた折り紙作品を
展示しています♪

写真は 2015 年の日本童話祭のもの

現在の活動

【わらべサークル行事】

新春子どもまつり
巡回わらべ劇場
童話の里kすまちこどもフェスティバル
(プレゼント作成・会場装飾)

【日本童話祭・おとぎ劇場】

折り紙教室(図書室)

【わらべの館への協力】

七夕づくり・おひな様飾り
夏休み折り紙教室
わらべの館ウインドウ飾りつけ

【折り紙教室】

森自治会館
玖珠自治会館
北山田小祖父母学級
森中央小クラブ活動

【2024 年現在の会員等】

代表 穴本 康代

顧問 松下 徳子 衛藤 篤代

会員 斉藤 真弓 清原千代子 藤野 洋子

佐藤 治乃 日隈マサ代 秀島 元子

小野久美子 高倉佐恵子



2024 年 2 月 16 日
わらべの館ロビーのひな飾りを終えて
みんなで イエ～イ♪

サークル名

くすコールメルヘン 1984 年～

結成のきっかけ

森中央小の卒業式で子ども達が歌ったハレルヤに感動し親の私たちも歌いたいと、そのときの卒業生の親が声をかけ合い、佐藤みち子先生にご指導していただくことになり、「玖珠女声コーラス」として1984年9月11日に結成しました。



童話祭のおとぎステージでも熱唱！

毎週水曜日が練習日です♪
20:00～22:00(森自治会館)
いっしょに歌いませんか♪



2023 童話の里くすまちこどもフェスティバル



2024 年 3 月 公民館フェスティバル(メルサンホール)

活動の特色

時代の流れにおされ、忘れがちになった童謡、唱歌を少しでも子ども達に、歌い継いでいければと思い 30 年間歌いつづけています。

毎年大分市で行われる「大分おかあさんコーラスフェスティバル」に出場する事が団員一同の励みであり、勉強の場でもあります。

町のイベントに参加し、地域のみなさんと大声で楽しく歌える事に幸せを感じています。

最近では福祉施設やいきいきサロンなどでも、地域の方々と歌で交流を深めています。

現在の活動

毎年1月に行われる「大分おかあさんコーラスフェスティバル」に参加し、1年の幕開けです。2018年に30回出場表彰をいただきました。玖珠では「ミュージックフェスティバル」や「巡回わらべ劇場」、地域のイベントなどに出演して、新しく覚えた歌の発表の場をいただいています。

私たちの一番楽しいひと時です。

【定例の活動】

- 練習日・・・毎週水曜日(夜)
- 大分おかあさんコーラスフェスティバル
- くすミュージックコンサート
- 巡回わらべ劇場
- 新春子どもまつり
- 童話の里くすまちこどもフェスティバル
- 日本童話祭
- 慰問活動など

【2024年現在の会員等】

代 表: 大谷徹子

副 代 表: 菅田カズミ

事 務 局: 衛藤篤代

指揮指導: 末永潤一郎 藤枝いづみ

佐藤みちこ

ピ ア ノ: 森 仁子

会 員: 長尾毬子 斎藤真弓 谷瀬ユキエ

藤野洋子 梅木美恵子 伊藤直美

宇都宮洋子 秀島元子 日野光子

高倉佐恵子 保岡多保

これまでの活動

- 1984 わらべサークル加入
- 87 おおいたおかあさんコーラスフェスティバル初出場
- 1991 玖珠郡音楽協会結成
- 第1回玖珠郡コーラスフェスティバル
- 92 久留島武彦先生33回忌法要
- 93 OAB出演(ぶんごコーラスライン)
- 京都フィルハーモニーと歌う会
- (くす・このえクリスマスめぐるコンサート)
- 94 お山の杉の子コンサート(切株山)
- 第45回童話祭アンデルセンコンサート
- 95 自由の森大学コミュニティタイム出演
- 97 童話祭前日祭ミュージックファンタジー
- (大分市マンドリンクラブジョイント・かっぱのお酒)
- 98 第13回国民文化祭参加
- 2000 ウェンディコンサート300回記念
- 羽田健太郎フルハートピアノファンタジア
- 2001 九州交響楽団のタベ
- 2002 コアやまくに長谷部一郎ピアノトリオ
- 2003 第1回童謡・唱歌コンサート
- 2008 結成20周年チャリティー・コンサート
- 益金を玖珠郡内の小中学校吹奏楽部に
- 2011 玖珠町町民表彰(文化振興の部)
- 2013 「大分おかあさんコーラスフェスティバル」
- 25回出場表彰
- 2014 結成30周年チャリティー・コンサート
- 2018 大分おかあさんコーラスフェスティバル
- 30回出場表彰
- 2020 新型コロナ感染予防のため
- 3～5月活動休止、
- 6月から時短・マスクで活動再開
- 2022 第73回日本童話祭(再開)
- 2023 大分おかあさんコーラスフェスティバル
- 再開・出場

※2024年4月21日(日田市にて)

末永潤一郎先生に贈るコンサート(コラボ)
の予定

♪みなさん、来てくださいね♪

結成のきっかけ

1989年、わらべの館主催「語り部講座」終了時に、受講者たちで、久留島精神を受け継ぎ、口演童話活動をするためのグループ結成の必要と感じて設立した。

活動の特色

「語りを聞く人も、語る人も共に楽しむ」ことをモットーとして、13名で活動している。

会名の「ひこわ」の「ひこ」は武彦、山彦の「ひこ」、「わ」には童話の波紋の輪、年輪、そして和やかにとの意が込められている。童話や民話などを語り継いで、みなさんに夢や希望を届けることを願い、「継続は力」で活動して 34 年になる。



くす星翔中学校1年生フィールドワーク
伐り株山頂で「きりかぶ」上演
(2022 年 10 月 27 日)



「平和を願う日」出前お話し会
八幡小学校口演
(2023年8月6日)



30 周年以降制作紙芝居

第 66 回日本童話祭・安楽寺会場



日本放送福岡めんたいワイド「ももたろうからのてがみ」収録を終えて
(2023 年 9 月 8 日 記念館)て



これまでの活動

1989 年	語り部講座受講
1990 年	2月発足
1991 年	日本童話祭おとぎ劇場「安楽寺会場」を担当
1995 年	民話の説明版設置 到津遊園林間学校体験研修
1998 年	TBS「笑顔が一番」出演 なぜなぜ九州「童話を調べる」出演 国民文化祭「童話の語りフェスティバル」
2001 年	語り部養成講座
2002 年	「心の教育」大分県より委託。(6 年間)
2005 年	「子どもお話道場:おはなしキッズ立上げ。キッズ養成指導
2008 年	「心の教育」玖珠町より委託(3年間)
2010 年	全国童話人協会玖珠総会に協力参加
2012 年	「昔話を楽しむ九州・沖縄交流会 in 大分」別府で開催 協力参加。
2013 年	第 1 回「久留島武彦顕彰全国語り部大会」全町をあげての 取り組みとして開催 運営に全会員が参加
2014 年	おはなしいっぱい玖珠の集い(町内全校に出前お話し会) 「語り部ひこわの会」町民表彰受賞
2015 年	立体紙芝居「かさじぞう」制作
2016 年	(毎年参加の)昔話を楽しむ九州・沖縄交流会 30 回をもっ て終了
2017 年	全国童話人協会総会玖珠大会協力参加 紙芝居「久留島武彦物語」制作
2018 年	国民文化祭(大分県)協力参加 紙芝居「ももたろうからの手紙」制作
2020 年	語り部ひこわの会創立 30 周年記念事業(巡回口演活動) 創立 30 年の歩み作成 久留島武彦双六制作に着手
2021 年	河童の里「田主丸」を訪ねる旅 紙芝居「こひつじフリスカ」補強作業
2022 年	NHK 大阪「西日本の旅」収録。(紙芝居「きりかぶ」)
2023 年	日本放送「めいたいワイド」収録。(紙芝居「ももたろうからの 手紙」) 「平和を願う日」平和集会で口演(町内2校) OBS「ゆうわくワイド」収録。(第75回日本童話祭に向けた 語り部ひこわの会の活動)

現在の活動

[わらべの館への事業協力]

- ・わらべの館主催事業への参加

[わらべサークル協議会の活動]

- ・巡回わらべ劇場(要請に応じて通年)
- ・童話の里こどもフェスティバル(10 月)
- ・新春こども祭り(1月)

[日本童話祭]

- ・おとぎ劇場安楽寺会場を担当

[研修会など]

- ・大分語り部の会主催
紙芝居講座
お話を楽しむ会(お話発表と研修)
フィールドワーク
講演会など
- ・県立図書館主催事業への参加
- ・諸団体主催の研修会への参加

[出前お話し会]

- ・認定こども園
- ・小学校お話し会
玖珠町発行:副読本「久留島武彦」
を学ぶ出前お話し会他。
- ・中学校 フィールドワーク
- ・民話ウォーキング
- ・北山田地区観月祭
- ・いきいきサロン

[定例会]

- ・毎月1回(経過報告や次月の取り組み)
- ・随時(制作活動、実践交流など)

[2023 年現在の会員等]

顧問……梅 木 金 治
 会長……秋 好 民 子
 副会長……高 石 元 子
 事務局……佐藤みち子
 会計……穴 井 民 江
 会計監査……日 隈 敏 子
 会員……湯浅恵美子 中 園 ちづる 太 田 行 子
 穴井千津子 河 野 正 子 貞清イツ子
 堀 田 真 理



結成のきっかけ

1989年、森婦人会に童謡クラブを設け、部員を募集する。

1990年、「森童謡を歌う会」として発足し、わらべサークル協議会に入会する。

活動の特色

～歌えば楽し！歌は元気のもと！～

あ…集まろう！…今日行く(教育)所がある幸せ！

い…いい顔で(ほぐし体操)…曲にあわせて、顔や体をやわらかに！

う…歌って(声、気持ちを合わせて)…童謡を中心に！

え…円満(おしゃべりタイム)…心を通わせる時間！

お…お話(歌にまつわる話を知る)…歌に魂が入ります！

90 分間を㊦ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ の要素を取り入れて構成しています。



珠菊会(箏曲の会)とのコラボは貴重な体験でした。
2013 年 11 月 3 日 くすまち文化祭



久留島武彦生誕 145 年記念事業北九州市との交流会
2019 年 6 月 19 日(旧久留島邸園)



6月27日久留島武彦先生祥月命日法要



新型コロナ感染予防のため、マスク姿で歌いました。
2022 年 10 月 22 日(くすまちこどもフェスティバル)

これまでの活動

1990 年	「森婦人会童謡を歌う会」結成 指導者：緒方喬先生 新春こども祭り出演 くすまち公民館祭り出演 コーラス・フェスティバル出演
2007 年	10 月 機関庫祭り出場
2008 年	10 月 大分国体ホッケー開会式「若い力」合唱 (メルヘンの森スポーツ公園)
2011 年	2 月 緒方喬先生ご逝去 4 月 指導者：佐藤俊文先生 8 月 童謡・歌唱コンサート 10 年間出演
2012 年	2 月 われら現役大会出演
2013 年	3/10 第 1 回森自治会館祭主演 6/15 くすミュージック・フェスティバル出演 6/27 久留島武彦先生祥月命日法要 10/26 わらべサークル・フェスティバル出演
2014 年	3/9 森自治会館祭主演 6/27 久留島武彦先生祥月命日法要 7/13 くすミュージック・フェスティバル出演 10/11 わらべサークル・フェスティバル出演
2015 年	3/22 森自治会館祭り出演 6/27 久留島武彦先生祥月命日法要 7/12 くすミュージック・フェスティバル出演 11/29 わらべサークル・フェスティバル出演
2016 年	3/6 森自治会館祭出演 6/27 久留島武彦先生祥月命日法要 7/17 くすミュージック・フェスティバル出演 10/16 わらべサークル・フェスティバル出演
2017 年	3/19 森自治会館祭出演 6/27 久留島武彦先生祥月命日法要 7/16 くすミュージック・フェスティバル出演 10/4 森地区観月祭出演
2018 年	6/27 久留島武彦先生祥月命日法要 7/22 くすミュージック・フェスティバル出演 9/22 森地区観月祭出演 11/15 久留島武彦記念館「継続は力なり」除幕式
2019 年	2 月 指導者：佐藤みち子先生 6/19 久留島武彦生誕 145 年記念事業：北九州市 との交流会出演 6/27 久留島武彦先生祥月命日法要 7/21 くすミュージック・フェスティバル出演 6/16 森地区観月祭出演
2020 年	10/27 童話の里こどもフェスティバル出演 3/14 森自治会館祭出演
2022 年	—新型コロナウイルス感染予防のため、諸行事中止— 10/22 童話の里こどもフェスティバル出演
2023 年	6/27 久留島武彦先生祥月命日法要 10/21 童話の里こどもフェスティバル出演

現在の活動

＜練習＞

毎月第2, 第4金曜日午後1時半～3時
森自治会館ホール

＜わらべサークル協議会関係＞

- ・新春子ども祭り(スタッフとして参加)
- ・わらべサークル・フェスティバル参加(出場)
- ・森自治会館祭(出場)

＜久留島武彦先生祥月命日法要＞

- ・久留島先生童話50年讃歌献歌

＜2024 年現在の会員等＞

代 表：朝倉美智子

会 員：秋山真由美	足立ヨシエ	臼 木 哲 子
志津里芳美	宿 利 悦 子	寺村千恵子
河 野 月 子	河 野 静 香	日 隈 睦 子
宿 利 妙 子	松方千枝子	春田ユキ子
岩 下 時 代	森 明 子	永 富 喜 代
佐 藤 ティ子	日 隈 敏 子	松 山 康 子
坪 井ひろみ	藤 原しげ子	梅 木 かをり
藤 原 耐 子	小泉武津子	



結成のきっかけ

元福岡教育大学名誉教授清田義雄さん（佐伯市）は、造形美術の研究や教鞭をとる傍ら、65 年をかけて日本各地や海外の貴重な玩具をはじめ造形教育で使用されていた道具や書籍・各種資料、美術史上かけがえのない作品群『創作版画集「白と黒」』など、1 万点を超えるコレクションを収集されました。

清田先生はこの貴重なコレクションを 1990 年 8 月、「久留島武彦先生の生誕地であり、“童話の里”として全国からたくさんの子供たちが集まる玖珠町へ寄付しましょう」と本町に寄贈してくださいました。

（第1次寄贈品搬入：1990年9月～12月 玩具、民芸品、版画等）

玖珠町では清田先生の御厚志を大切にしながら、膨大なコレクションを系統立てて整理することとし、1991 年 1 月 14 日、青野勝比古氏以下 5 名に整理を委嘱しました。委嘱を受けた 6 人により「清田コレクション整理委員会」の歩みが始まりました。



1990 年発足当初
整理方針を決めるための活発な会議の様子



1994 年 展示のため「巻」を解いて額装された
『創作版画集「白と黒」』（320 点）を確認する会員

活動の特色

清田コレクションの郷土玩具や民芸品は、貴重な品が多く含まれています。整理は清田義雄先生と田中久卿先生（清田先生に師事した継承の第一人者）から専門的な解説を受け、価値や取り扱いについての指導支援のもと、製作の過程や原材料などから類別し、簡単で分かりやすい解説をつけています。

1991 年 5 月 3 日から約 1 万点のコレクションの内、郷土玩具や民芸品を中心に約 3 千点がわらべの館「おもちゃの部屋」で公開されています。しかし全点を公開することはできないため、定期的に差し替えを行っています。コレクションには手のひらに乗るような小物も多く、取扱いには細心の注意が必要です。彩色されたものは色落ちしないように、手垢をつけないように、作品の特徴や地域の特性が守られるように配慮しています。

また、清田先生自ら現地に出向いて採拓しためずらしい拓本 146 点の内 88 点を軸装しています。この整理には日本拓本研究会の重鎮である加藤久嘉・首藤武巨・中村道則の三氏に指導を仰ぎました。『創作版画集「白と黒」』や拓本は一定点数を常設展示し、定期的に入替を行っています。

これまでの活動

- 1991 1月14日 清田コレクション整理委員会
発足(青野勝比古外5名)分類整理作業
開始
5月3日 わらべの館に清田コレクション
開設(主に民芸品)展示作業にあたる。
- 1994 4月 創作版画集「白と黒」の整理、及び
額装
創作版画展「白と黒」展開催(4/16～
4/22)
- 1999 第2次寄贈分の搬入(造形道具・拓本・
書籍)
- 2000 全寄贈品の図録、台帳整理作成完了
- 2002 拓本の整理開始(5/12)拓本の図録、
解説書の作成に着手(7/11)
- 2003 拓本分類整理作業と軸装完成
- 2004 拓本解説書「刻まれた文学」発刊
- 2005 童話の里大学(中央公民館主催)で出前
講座(2/24 メルサンホール)
日本童話祭「日本の民芸とおもちゃ」の
コーナー設置。動くおもちゃで遊ぶ体験
教室開催
- 2005 拓本特別展の開催(10/9 わらべの館
開館20周年記念事業)
北山田寿大学で出前講座(12/2)
- 2008 郷土の民芸品を探る～
キジ車・おきあげ(北山田)、ウソ(森)
- 2009 造形道具(工具)特別展(9/25～12/5)
- 2010 清田先生亡き後もコレクションの整理や
管理、展示、修復などに変わらずご指導、
協力いただいている田中久卿先生が玖珠
町から「文化振興功労賞」を授与される
書籍保管先(塚脇:土地改良区跡)から
図書をわらべの館に搬入。
閲覧・展示と保管・陳列の部に分類整理
創作版画集「白と黒」特別展(9/27)
- 2011 創作版画集「白と黒」特別展(10/10～
14)
民芸品・版画 台帳との照合点検
拓本特別展開催
- 2012 新春子どもまつりで版画・拓本・風の
特別展
- 2013 町民の日で創作版画集「白と黒」特別展
(メルサンホール)
- 2013 お面展示取り換え作業(5/5)
- ※この間に西日本地域の先進地視察も数回
実施

現在の活動

- ① 定例行事への参加
 - ・新春子どもまつり
 - ・日本童話祭
 - ・文化祭など
- ② 通常の活動
 - ・展示作品の取替
 - ・破損品の修理
 - ・陳列の工夫など
- ③ 課題
 - ・清田コレクションの全容が見える整理
 - ・関係機関や団体との提携

【2024年現在の会員等】

会 長:山本 博司

事務局:和田 二郎

会 計:長尾 春恵

小西 保喜 岐 部 屹 安藤 富雄

西野 重正 秋好 干城 佐藤 俊一郎

日隈 敏子 佐藤 みち子 日隈 茂一朗

奥村 光範 小野 一信 (順不同)



四方転に関する研究資料を展示



2020年1月5日 新春子どもまつり
珍しいコマや玩具で遊ぶ子どもたち

結成のきっかけ

国民文化祭おおいた98の開催地として「人形劇の祭典」が玖珠町で催されることを記念し、地元唯一の人形劇団として玖珠町役場退職者により、平成8年10月に結成。

活動の特色

人形の操作により生き生きと豊かな表情の人形として民話や物語を演出することにより、子どもが興味を広げ喜びや楽しさのなかで、豊かな心を育む人形劇の活動を続けたいと練習に励んでいます。

最近は老人福祉施設や「いきいきサロン」等からの公演要請があり、人形劇、マリオネット、歌遊び、手遊び等、一緒に楽しんでいます。



わらべサークルフェスティバル
「さんびきのこぶた」人形劇の一コマ



人形と戯れる
衛藤会長



活動が、西日本新聞や大分合同新聞月刊「セーノ」にも掲載されました♪

これまでの活動

- 1996 湯布院人形劇カーニバル視察
人形劇ビキタロ結成
- 1997 日本童話祭初公演
- 1998 国民文化祭人形劇の祭典に出演
わらべサークル協議会加入
大山町子ども会にて公演
毎年の巡回わらべ劇場出演
日本童話祭
新春子どもまつり
子ども秋まつり
保育園・幼稚園・老人福祉施設
いきいきサロン
カウベルランドまつり
- 2003 会員研修旅行(箱根・鎌倉・横浜・東京)
「横浜人形の家」
- 2006 結成 10 周年記念事業
①僻地 5 カ所に人形劇の出前公演
②研修旅行(那須・磐梯・日光 2 泊 3 日)
- 2007 「虎の子ウーチャン」完成(くるしま童話から)
- 2008 「はらぺこあおむし」完成(人気えほんから)
- 2009 「鬼ヶ城」完成(玖珠町の民話から)
- 2012 大分ボランティア活動サークル交流会で公演
大分県「ふるさとの達人」に登録
中津市三光児童館公演(TOS テレビ放映)
- 2013 町民の日表彰(文化振興功労賞)
日田市・老人クラブと児童館
9 月 17 日 300 回記念公演(玖珠自治会館)
- 2014 中津市三光児童館 巡回劇場
- 2015 別府市南小学校児童クラブ 巡回劇場
研修旅行(日光)
- 2016 結成 20 周年記念公演(玖珠自治会館)
- 2017 久留島武彦記念館オープン記念屋外公演
ソロプチミスト日本財団「社会ボランティア賞」
- 2018 大分合同新聞社 月刊「セーノ」に掲載
第 33 回国民文化祭子どもと楽しむフェスティバル「花さかじいさん」公演
- 2020～2021 コロナ禍 童話祭・子どもフェス等中止
- 2022 感染状況を見ながら随時活動を再開
- 2023 童話の里くすまちこどもフェスティバル
人形劇「さるじぞう」 公演回数 380 回達成

現在の活動

- 会 員 12 名
- 定例会 毎月第 2、4 金曜日
- 練 習 わらべの館
- 広 報 年 2 回発行
現在 132 号(平成 9 年より)
- 活動内容
 - 巡回わらべ劇場
 - 新春子どもまつり
 - 日本童話祭おとぎ劇場
 - 童話の里くすまちこどもフェスティバル

【2023 年現在の会員等】

- 会 長 衛 藤 昭
- 会 計 茨 木 君 子
- 事務・広報 長 田 恵
- 会 員 小 野 蓮 子 武 田 艶 香
井 上 弘 子 恒 任 恵 美 子
日 隈 睦 子 小 野 郁 代
穴 井 み つ 子 永 弘 洋 子
佐 藤 友 子



練習後の創作研究室で、はい、ポ〜ズ♪

結成のきっかけ

「全日本あすなろ腹話術協会」で研修を受けていた会員の一人が、第53回日本童話祭(2002年)のおとぎステージに出演。その折、わらべサークル協議会の方から加入のお誘いを受けたことが結成(2003年)のきっかけとなりました。

以前から腹話術に関心や魅力を感じていた3名で、サークル名を「くすパペット」と決めてわらべサークル協議会に加入させていただきました。会員の3名は、「子どもたちが健やかに育ってほしい」「本当の豊かさを感じる子どもたちに育ってほしい」と願い、以前から「子どもたちの未来につながる生き方をしたい」との強い思いで様々な活動を続けていたメンバーなので、「くすパペット」の活動は順調にスタートできました。

活動の特色

久留島武彦先生は、子どもに人として生きるのに大切なことを楽しいお話しにのせて教え続けてくださいました。「童話の里くすまち」で、今を生きている私たちにできることについてえてみたいと思いました。

腹話術は、人形とのかけ合いで癒しと笑いを届けながら”難しいことを優しく” “優しいことを深く” “深いことを楽しく” 考え合える話術だと実感しています。

「全日本あすなろ腹話術協会」の本部研修、九州支部研修、大分県支部研修、パペットAKB(玖珠・日田合同)研修、くすパペットミニ研修等々で術を磨く努力を重ねながら活動が続いています。「汗をかいて、台本を書いて、恥をかいて」を合い言葉にして、乳幼児から高齢者までに楽しくわかりやすくメッセージを届けることを心がけています。

【公演(講演)の内容等】

- ① 依頼されたテーマや内容(童話・子育て・食育・人権・平和・交通安全・健康・ボランティア活動・高齢者や女性の生き方等々)での公演
- ② さまざまなイベントで、腹話術を使つての司会進行



沿道から「かわいいね」の声。 県内の仲間と日本童話祭のパレードに参加しました。

これまでの活動

2003 年 サークル名「くすパペット」で
わらべサークル協議会に加入
【腹話術を使つての公演(講演)活動等】

- 日本童話祭参加
仮装パレード(63回まで)・おとぎ劇場
 - わらべサークル協議会主催の行事
 - わらべサークル「巡回わらべ劇場」
 - 学校(小・中・高・大・支援)の行事や授業
 - 幼稚園・こども園・保育園
 - 放課後児童クラブ・児童館
 - 福祉施設(高齢・障害)の行事
 - 公民館主催の行事
 - 家庭教育学級の研修
 - 市町村主催の研修会やイベント
 - お寺の行事
 - いきいきサロン・老人会等の行事や学習会
 - 各種女性団体の学習会
- 【研修(県・九州)】
- ◇九州支部研修 ◇大分支部研修
 - ◇パペットAKB研修

現在の活動

【腹話術を使つての公演(講演)や司会等】

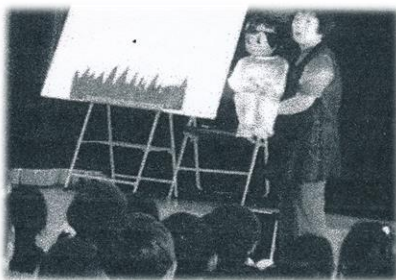
- 日本童話祭
＊おとぎ劇場(司会進行・出演)
- わらべサークル協議会主催の行事
＊巡回わらべ劇場 ＊新春子どもまつり
＊童話の里くすまちこどもフェスティバル
- 学校(小・中)の行事や授業(食育・人権他)
- 幼稚園・こども園・保育園の行事や研修会
- 放課後児童クラブ(教室)や児童館の行事
- 子育てサロンや地域食堂のイベント
- 福祉施設(高齢・障害)の行事や研修会
- 公民館主催の行事
- 各種女性団体・各種協議団体等の研修会
- 県市町村主催の研修会
- 病院や森林組合職員の研修会
- いきいきサロン・老人会等の研修会

【研修】(コロナウイルス感染予防のため3年間中止)

- ◇大分支部研修(年1回実技交流)
- ◇パペットAKB研修(月1回日田市と合同)
- ◇くすパペットミニ研修(コロナ禍のみ)

【2024 年現在の会員】

秋好民子 元松信一 秋好真一 山本紀子



楽しく分かりやすい「子育て」や
「子育て」支援を目指しての
公演活動が多い。



術者のことばより
かわいい人形のことばの方が
心に残るようで・・・。



結成のきっかけ

2003 年(平成 15 年)4 月、小川館長のもと、わらべの館の読み聞かせ会「えほんの会」をボランティアとして引き継ぎました。メンバーも次第に増え、入れ替わりはありましたが現在は 8 名での活動となりました。

2007 年(平成 19 年)にサークル名を「えほんの会はびねす」とし、読み聞かせの会として正式に発足しました。

活動の特色

活動内容は、絵本の読み聞かせを中心に、手遊び、わらべ歌、紙芝居、パネルシアター、エプロンシアター、バルーンシアター等、多種にわたります。

乳幼児から大人まで、その対象に応じて題材を選定して演じています。

特に久留島武彦先生の作品は、手作りのパネルシアターや紙芝居で、その功績を知っていただけるように努力しています。

紙芝居

「くるしまたけひこ物語」

「子ぐものいのり」

パネルシアター

「トラの子ウーちゃん」

「ゆめうりふくろう」

「ツバメンのおんがえし」



わらべの館で広瀬知事と



トラの子ウーちゃんも応援に来ました♪

これまでの活動

【 略歴 】

2003 えほんの会ボランティア初回公演
 2007 「えほんの会はびねす」結成
 わらべサークル協議会へ参加
 2011 読書推進運動協議会(東京都)の
 第44回全国優良読書グループ表彰

年次	回数	参加人数	累計人数
2003 (H15)	24	611	
2004 (H16)	23	573	1,184
2005 (H17)	22	571	1,755
2006 (H18)	22	1,091	2,846
2007 (H19)	20	997	3,843
2008 (H20)	22	926	4,769
2009 (H21)	20	527	5,296
2010 (H22)	23	851	6,147
2011 (H23)	22	657	6,803
2012 (H24)	22	494	7,298
2013 (H25)	22	457	7,755
2014 (H26)	24	386	8,141
2015 (H27)	21	341	8,482
2016 (H28)	23	405	8,887
2017 (H29)	20	315	9,202
2018 (H30)	20	248	9,450
2019 (R1)	17	249	9,699
2020 (R2)	休止	0	9,699
2021 (R3)	休止	0	9,699
2022 (R4)	休止	0	9,699
2023 (R5)	再開	190	9,889



現在の活動

【 わらべの館の活動 】

・えほんの会
 (毎月第1、第3水曜日 10:30～)

【 わらべサークル協議会の活動 】

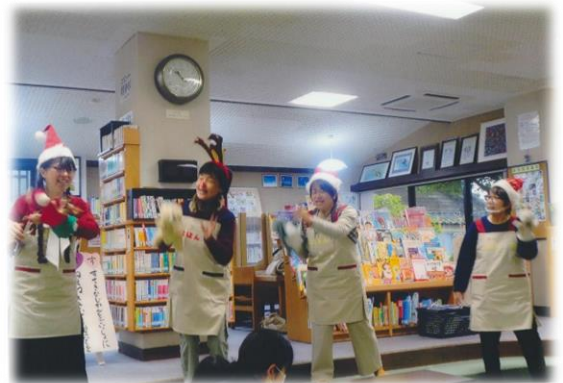
・巡回わらべ劇場
 ・童話の里くすまちこどもフェスティバル
 ・新春子ども祭り

【 その他の活動 】

・日本童話祭参加
 ・絵本の読み聞かせに関する、研修会・
 学習会・講演会・交流会などに参加

【2024年現在の会員等】 現在 8名

代表者 秋山真由美
 衛藤篤代
 谷本津代子
 油布さとみ
 原田ふくみ
 高倉明美
 秋山奈穂
 堀田真理



2023年度の「えほんの会」 毎回楽しく頑張ってます♪

サークル名	ラ・フェリーチェ 2016 年 4 月～ (2013 年～2016 年 3 月「コール・ファンタジア」)
--------------	--

結成のきっかけ

2013年学校教育部会音楽部会に所属していた4名が退職し、ソプラノ、アルト、テノール、バスが揃ったところで、退職後も音楽を楽しみ、現場になんらかの恩返しができればと考え、混声4重唱の合唱団を結成した。

活動の特色

混声 4 部の音の重なり心地よさを求めて、団員の声質、力量に応じた編曲をしたり、機器を使った伴奏をつけるなど自由な練習やステージに立つことを楽しんでいる。

また、学校の音楽づくりを支援できれば幸いと要請があれば出かける。



「ラ・フェリーチェ」の前身「コール・ファンタジア」



ラ・フェリーチェ



第1回ふれあいコンサート新聞記事(大分合同)



「世界の歌姫：佐藤美枝子クリスマスコンサート」を終えて
佐藤美枝子さんと実行委員

これまでの活動

現在の活動

2013 年 (h25)	6 月結成「コール・ファンタジア」と命名。 10/18・・・ふれあいコンサート(森中央小学校6年生) 10/20・・・大分合同新聞ふれあいコンサート掲載 12/ 6・・・ふれあいコンサート(森中央小学校5年生)
2014 年 (h26)	2/6・・・ふれあいコンサート(塚脇小学校) 10/11・・・わらベサークルフェスティバル出場 12/ 9・・・ふれあいコンサート(めぐみ幼稚園)
2015 年 (h27)	1/19・・・ふれあいコンサート(カトリック幼稚園) 3/ 4・・・ふれあいコンサート(くすのき保育園) 3/11・・・ふれあいコンサート(北山田小学校) 3/16・・・ふれあいコンサート(森幼稚園) 3/29・・・少年少女合唱団合同演奏会出場 7/15・・・世界の歌姫:佐藤美枝子さんクリスマス・コンサート準備委員会のちに実行委員会結成 11/29・・・わらベサークル・フェスティバル出場 12/17・・・老健施設「アイリス」訪問コンサート 12/19・・・佐藤美枝子クリスマス・コンサート
2016 年 (h28)	4/1・・・(団体名を「ラ・フェリーチェ」と改名) 5/1・・・くす星翔中学校「校歌作曲者選定」について 要望書提出～完成まで様々に関わる 10/29・・・わらベサークル・フェスティバル出場
2017 年 (H29)	7/16・・・くすミュージック・フェスティバル出場
2018 年 (h30)	2/18・・・くすまち公民館フェスティバル出場
2019 年 (h31) (R1)	2/17・・・くすまち公民館フェスティバル出場 6/7・・・ふれあいコンサート(八幡小学校) 7/21・・・くすミュージック・フェスティバル出場 8/28・・・玖珠郡医師会立老人保健施設はね訪問コンサート 10/27・・・退職校長会地域活動懇談会日田玖珠大会で発表
2020 年 (R2)	2/16・・・くすまち公民館フェスティバル出場
2022 年 (R4)	2/20・・・くすまち公民館フェスティバル(中止)
2023 年 (R5)	2/19・・・くすまち公民館フェスティバル出場

○合唱練習
毎 週 月 曜 日 14:00～16:00
於:メルサンホール

○わらベサークル協議会事業
子どもフェスティバル参加
新春こども祭り参加
巡回わらベ劇場参加(要請があれば参加
します。)

○独自事業(要請があれば)
老健施設、サロンなどでミニコンサート
学校支援・・・合唱指導・楽器演奏指導

<メンバー>

コール・ファンタジア(フェリーチェの前身)

ソプラノ・・・日隈町子
アルト・・・佐藤みち子
テノール・・・森口清彦
バス・・・佐藤敏文

フェリーチェ

ソプラノ・・・日隈町子
アルト・・・佐藤みち子
テノール・・・若松平八郎
バス・・・佐藤敏文

フェリーチェ(現在)

ソプラノ・・・日隈町子
アルト・・・佐藤みち子
テノール・・・若松平八郎



2017/07/16

7. 記念写真



(2024. 3. わらべサークル協議会)

わらべサークル協議会結成 40 周年記念誌編集委員会

1	大 谷 徹 子	会長
2	秋 山 真 由 美	副会長
3	佐 藤 み ち 子	副会長
4	松 下 善 法	副会長
5	衛 藤 昭	会長経験者
6	山 本 紀 子	会長経験者
7	望 月 久 光	副会長経験者
8	小 野 千 春	副会長経験者
9	茨 木 君 子	副会長経験者